

# ご近所の お医者さん

643

笠原産婦人科医院長

笠原幹司さん

—東大阪市

## 子宮頸がんワクチン接種を

子宮頸がんは、我が国において年間約1万人が罹患、約2800人が亡くなっており、患者数・死亡者数ともに増加傾向にあります。特に、50歳未満の若い世代で罹患する方が増えていきます。子宮頸がんの原因の多くがヒトパピローマウイルス(HPV)による感染です。

そのため、HPVワクチンを接種し予防に努めていただくことが重要です。HPVワクチンには2価・4価・9価の3種類があり、それぞれの数字は対応しているウイルスの型の数になります。

## 4月から9価も無料

ます。そのため、9価ワクチンは九つの型のウイルスをターゲットにしており、子宮頸がんの原因となるほとんどのHPV型を網羅しています。9価ワクチンが普及すれば90%以上の子宮頸がんが予防可能になると期待されています。

ました。当時の報道を覚えている方もおられるかと思いますが、今でも副作用の強いワクチンだと思われる方が多いようです。しかし、接種後の副作用について多くの解析が慎重に実施されてきました。が、ワクチン接種との因果関係を科学的・疫学的に示した報告はなく、22年4月に積極的勧奨が再開されました。

接種の差し控えによって接種機会を逃して

ます。この9価ワクチンは、2020年7月に製造販売が承認、21年2月より販売されており、これまでは任意接種となっていました。23年4月より

公費負担により無料で接種が可能となりました。

HPVワクチンの定期接種は、13年4月に開始されましたが、接種後に広範な痛みや運動障害などの多様な症状が報告され、わずか2カ月後に接種の積極的勧奨の一時差し控えが発表され

しまった方には、「キャッチアップ接種」があります。①1997～05年度生まれ②過去にHPVワクチン接種を合計3回受けていない③の2条件に該当する方は、25年3月までであれば公費で接種が可能です。接種は一定期間を空けて3回、打ち終わるまでに6カ月かかります。あと2年しかありませんので、接種をお考えの方は、かかりつけ医やお住まいの市町村にご相談ください。

(府医師会理事)

